


平成31年度 危機管理部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
危機管理部長 八塔 圭介 	<p>●使命 私たち危機管理部は、総合計画に掲げる「人と自然が織りなすしあわせ実感都市瀬戸内」の将来像に向かい、市民が安全で安心できる暮らしを実現するため、行政、市民、地域が一体となった取り組みを行い、市民の防災意識、交通安全意識、防犯意識の向上を図ります。</p> <p>●基本方針</p> <p>① 防災意識の高いまちを目指して市民の防災意識の高揚と啓発、職員の防災・災害対応能力の向上に努めます。</p> <p>② 交通事故ゼロのまちを目指して交通安全推進団体と連携し、交通安全の教育や教室、啓発活動を実施します。</p> <p>③ 空家等に関する諸問題に対処するため、瀬戸内市空家等対策計画に基づき周囲に悪影響を及ぼしている空家等への指導を行います。</p> <p>④ 災害に対し、新たな情報伝達手段のシステムを構築します。</p>	所管課	危機管理課		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			6 人	1 人	7 人
		一般会計	85,386 千円		
		特別会計	千円		
計	85,386 千円				
(うち人件費)	(36,254 千円)				

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	市民の防災意識の啓発と自主防災組織の育成 市民の防災意識の高揚と自主防災組織の結成促進を図るため、出前講座を開催します。 自主防災組織を牽引するための防災リーダーの養成講座やフォローアップ研修を通じて地域防災力の活動創出を図ります。 出前講座や防災リーダー養成講座等を通して、地域の自主的な防災活動を積極的に推進する認定自主防災組織を増やしていきます。	出前講座 15回 (平成30年度 18回) 防災リーダー養成講座の実施 100名 (平成30年度 96名) 防災リーダーフォローアップ研修の開催 4回 延べ120名 (平成30年度 延べ129名) 市内自主防災組織 179団体 うち組織認定 60団体 (平成30年度末 45団体)	出前講座 13回 12月実施予定 8/4 1回目実施 34名 組織認定 47団体	出前講座 18回 12/7実施 39名 1/22 2回目実施 37名 組織認定 48団体	出前講座 19回 同左 2/5 3回目 29名 2/17 4回目 26名 組織認定 49団体

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
	<p>自主防災組織が開設する避難所届出制度の導入及び啓発をします。</p>	<p>自主防災組織が自主的に開設するコミュニティー等の避難所を届け出てもらうとともにその避難所に備蓄品を配備。また、広報紙等で周知。</p>	<p>要綱制定済 広報紙等周知予定</p>	<p>市ホームページに掲載 出前講座等で制度の紹介を実施</p>	<p>市ホームページに啓発を掲載中 登録 3件</p>
2	<p>職員の防災・災害対応能力の向上</p> <p>災害時における職員の危機管理に対する日常的な自覚や災害対応能力の向上を図るため、職員研修を実施します。</p> <p>市の災害対策体制や、各種マニュアル等の見直しを進め、防災等危機管理対策の強化を図ります。</p>	<p>職員を対象とした災害時における危機管理研修の実施</p> <p>教職員を対象とした学校における防災教育研修の実施</p> <p>水害を想定した市総合防災訓練の実施</p> <p>土砂災害ハザードマップの更新</p>	<p>8/27 主事・主任・主査級を対象に実施 37名</p> <p>8/22 災害対応研修実施（教育委員会主催・危機管理課講師）</p> <p>9/8 実施 約600名</p> <p>業者選定中</p>	<p>同左</p> <p>同左</p> <p>同左</p> <p>業者選定済。防災ハザードマップ（土砂災害を含む）作成中</p>	<p>同左</p> <p>同左</p> <p>同左</p> <p>完成、納品 令和2年5月号広報に折込予定</p>
3	<p>交通安全教育・教室及び啓発</p> <p>正しい交通ルールとマナーを理解し、安全な行動がとれるよう幼児期からの交通安全教育を行います。</p> <p>また、交通事故防止を図るため、警察署、交通安全推進団体、交通安全ボランティア等と連携し交通安全教室や啓発活動を実施します。</p>	<p>交通安全教育（教室）（保育園・幼稚園 30回）</p> <p>交通安全教室（高齢者・一般 5回）</p> <p>交通安全啓発（春・秋交通安全運動15回）</p> <p>交通安全フェスタ開催（9/15 500名）</p> <p>市内人身事故発生件数 平成31年60件以内 （平成30年1～12月 70件）</p>	<p>11回実施</p> <p>高齢者教室実施 2回（5/19、9/29）</p> <p>春8回、秋6回計14回</p> <p>9/15ゆめぴア長船で実施 来場約300名</p> <p>発生件数 25件 （平成31年1月～9月）</p>	<p>16回実施</p> <p>同左</p> <p>同左</p> <p>発生件数 32件 （平成31年1月～令和元年12月）</p>	<p>26回実施</p> <p>同左</p> <p>同左</p> <p>同左</p>

	重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
4	空家等の対策の推進	<p>空家等に関する施策の実施及び空家等除去に対する支援を検討します。</p> <p>利活用を含めた空家等の適正管理の普及・啓発に努めます。</p>	<p>庁内連絡会議及び認定審査会を開催し、周囲に悪影響を及ぼしている特定空家等に対する措置等の検討</p> <p>空家等除去支援制度の検討</p> <p>空家等の利活用に関する情報提供及び適正な管理を行うことの重要性や周辺地域にもたらす諸問題について広報紙等で周知</p>	<p>6/12 認定審査会開催</p> <p>要綱作成中</p> <p>広報紙7月号で周知</p>	<p>11/20 庁内連絡会議開催</p> <p>同左</p> <p>同左</p>	<p>3/23 空家等対策協議会開催</p> <p>要綱策定 令和2年度制度開始</p> <p>固定資産税納入通知書発送時(R2年4月)に啓発チラシ同封予定</p>
5	災害情報伝達手段の多重化・多様化の検討	市の防災行政無線は設置から 10 年以上経過し、設備更新を検討する時期が来ています。単に設備の更新を検討するのではなく、災害情報伝達手段の多重化・多様化を図り、適切に災害情報を伝達できるよう新たな災害情報伝達システムについて検討します。	瀬戸内市にとって効果的な災害情報伝達手段を探り、方針を決定	8 月入札、業者決定 9 月契約 基本構想作成中	11/14、1/30 瀬戸内市防災情報伝達システム基本構想等策定委員会開催 基本構想（案）作成済	基本構想を策定し、携帯電話通信網を活用したシステムを整備する方針に決定。個人が所有する携帯電話へ直接伝えることで、災害情報の迅速かつ正確な伝達を図る。 基本計画作成済